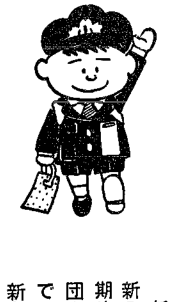
春・新学期　友だちをつくろう



新学期が始まりました。

新入学の一年生は、初めての学校生活で、めずらしさと期待感に胸をふくらませながらも、一方では慣れない集団生活に緊張したり、不安な思いにかられることもあるでしょう。

新入生にかぎらず、学校生活を明るく楽しくするには、一日も早く、まず仲のよい友だちをつくることです。

折から四月は、クラスの編成替えがあって、新しい顔ぶれがそろいます。

新学期――それは新しい友との出会いが芽生える時といえましょう。

「ドラえもん」とぼくたち

漫画一筋に35年

漫画家　藤子不二雄

藤本弘さん

安孫子素雄さん

ぼくたち二人は、「漫画が好きだ」の一言で友だちになって、もう三十五年。その間、仕事仲間であり、ふだんの生活では隣同士といったつき合いをずっと続けてきました。「ドラえもん」は、いわば二人の友人関係から生まれた"子供"みたいなものですね。

――小学校五年生のとき、安孫子が転校してきて、たまたま二人は同じクラスになりました。ところが、安孫子は性格的におとなしく、どちらかというと内向的で、休み時間なんかでも、みんながワイワイ騒いでいるのに、いつも教室のすみで一人ぼっち、ノートに漫画を描いていた。

そんなとき、藤本が声をかけたので、安孫子はとてもうれしかった。

話をしてみると、二人とも大の漫画好き。それからはお互いうちとけて、ほとんど毎日、学校が終わるとどちらかの家に行って宿題やったり、漫画を描いたり……といっても、漫画を描いているほうが多かったですけどね。まあ、親の目からすれば、あまりよい友だちではなかったかもしれません。

しかし、ぼくたちは漫画という共通の趣味を通して、友だちとしてのきずなを太くしていくとともに、一人では味わえない、友だちあってこその喜びや感動を分かち合うことができました。

自分だけで美しいものに出会っても、感動は一人分。友だちと共感しあってこそ、喜びは倍加し、感動は自分のものになるのだと思います。

――小学校から中学校にかけて、子供の成長に大きな影響を与えるのが、友だちです。そのためにも親は、子供の心が友だちに向かって大きく開くよう、見守ってやってほしいと思います。

「ドラえもん」には、いわゆる"いじめっ子"のジャイアンが登場します。しかし、ドラえもんの世界では、ジャイアンもまた愛すべき友だちです。

のび太くんをはじめ、しずかちゃん、スネ夫くん、ジャイアン――それぞれが悩んだり、楽しんだりしながら、お互いに影響し合って育っていく。友だちとは、そんなものではないでしょうか。

（藤子不二雄さんは、藤本弘さんと安孫子素雄さん二人一組のペンネームです。）

中学生と高校生の非行について

家庭、学校、地域社会が一体となって非行防止と健全育成に

中学生や高校生の非行は、ここ数年、人数と人口比が共に増え続けており、また、女子生徒の非行の増加、校内暴力事件の多発など注目すべき傾向もあります。こうした背景には、学校生活に対する不適応や、家庭内での親と子の精神的な結び付きの問題、地域社会での連帯感の乏しさなどの問題があると考えられます。

中学生や高校生の指導に当たっては、その特徴や傾向を適切には握し、一人一人をよく理解してその個性を伸ばしていくことが必要であり、そのためには、家庭や学校、地域社会が一体となって非行防止と健全育成に努力することが大切です。

（新潟家庭裁判所）

昭和55年度 人口動態職業・産業調査

出生届・死亡届・死産届・婚姻届・離婚届をされる方にお願い

△昭和55年4月1日から昭和56年5月31日までの間に、出生・死亡・死産があって届けられる方と、この期間に婚姻・離婚の届けをされる方は、届書に「職業（死亡は産業を含む。）」を記入していただくことになっています。

△厚生省では、届書に書かれた内容をもとに、人口動態統計を作成し、公衆衛生・労働衛生・社会福祉等、多方面にわたって重要な基礎資料として広く利用されますので御協力をお願い致します。

町史だより

小須戸町史へんさん室　⑩

大河・信濃川（四）

鎌倉潟大日頭無長戸呂若宮潟新開願人一件（小柳浩平氏文書）

前号に小須戸地内に六つの潟（沼）があったことを述べたが、その変遷について上記の注目すべき文書が、鎌倉新田小柳浩平氏宅に所在する。この事件は、寛政十二年（一八〇〇）のことであるが当時関係農民の一大事であったと思われ田上公民館にもほぼ同文の文書があり、読み下し文になおすと次のようになる。

恐れ乍ら書附を以て願上奉り候

鎌倉潟若宮潟龍玄潟三潟町数百五拾町歩余

新開願

御勘定所附支配所蒲原郡今泉村庄屋
願人　吉兵衛
溝口相模守知行所同郡水原町百姓
願人　宗右衛門

右願人吉兵衛宗右衛門より申上奉り候御支配所蒲原郡古津村金津村矢代田村湯川村新発田御領天ヶ沢新田鎌倉新田水田村小向村新保村龍玄新田右拾ヶ村地先字鎌倉潟若宮潟龍玄潟三潟の儀新発田御領一領の節より潟縁干揚の場所徒開試み仕り仕付け仕置き候処其後出水の度び毎芥砂押込み当時干潟同様にて荒増し作付け仕り候私共右最寄り親類好身のものこれ有り其の上右潟新開の義年来心掛け地所の訳け合相弁じ罷り有り候に付今般新開願上げ奉り候尤も村々にて徒開の分空地にて進退仕り候ては恐れ入り候儀に付右願の通り御高入仰せ下され候へば安堵の趣にも相聞え況んや悪水堀り抜き用水掛け引き江筋等普請仕り候はば追々古田畑同様に相成る可き場所に御座候則粗絵図相添え差上げ奉り候何分御慈悲を以て早速御見分成し下され願の通り御高入仰せ付けられ下し置かれ候はば潟縁村々小前潤ひにも相成り少し分乍ら御上様御益随て年来私共心願の儀成就仕り有り難く存じ奉り候以上

御支配所今泉村庄屋
寛政十二年　願人　吉兵衛
中三月　溝口相模守知行所
水原町百姓
願人　宗右衛門
御役所

右文書の要旨は今泉村庄屋吉兵衛と水原町百姓宗右衛門が鎌倉潟以下の新開願を水原町役所へ提出したもので、当時矢代田は幕府領であり、他の小須戸分は新発田領であった。これと同じ願いは新発田へも当然提出したものであろう。

文書は以下も続き（略）矢代田村百姓代兵右衛門組頭十左衛門庄屋伊兵衛、金津村百姓代惣右衛門組頭山三郎庄屋喜左衛門、古津村百姓代八左衛門組頭惣左衛門庄屋忠左衛門湯川村百姓代九郎右衛門組頭仙助庄屋平左衛門の名を以て水原御役所へ提出した「恐れ乍ら書附を以て御答申上候」の要旨は次の如くで、関係地内村の対応、当時の潟の様子が明瞭に記されている。

「吉兵衛・宗右衛門の願人が三潟の新開を願い出、右場所の差障り、昔からの訳け合いを申し上げるようにとのことですので、先ず関係村全般のことから申し上げます。

一、願人は三潟にて町数百五拾町歩余とありますが、龍玄潟というのはなく、鎌倉潟一ヶ所、大日潟一ヶ所、頭無長戸呂若宮潟は続いて一ヶ所でこの三ヶ所、水面・草生地とも合わせて廿町歩余で、願人の町数と大きな差があります。

また私ども古田一体は浮田（泥の深い田）で、潟は窪地の水溜めになっており、用水に欠かせぬ大切な場所です。もし新開を仰せつけられては古田の水が吸い落しになり、用水はもちろん古田の潤いもなくなって迷惑至極です。

一、金津村としては若宮潟長戸呂潟関係町数八町七反歩余で、昔から龍玄新田と入り合い（共同）にしており、その後半々に地分けし、草生の場所は野直銭（のでせん―山野池沼使用の上納金）壱反歩に百文づつ、水面の場所は草銭壱反歩に廿五文づつ上納しており、潟は水溜めにして置き新開されてはまた、馬草こやし草等刈取ることもできず、迷惑至極でございます。

一、古津村としては潟地内ではありませんが、若宮潟縁に古田の地先が懸っており、新開仰せつけられては古田の吸落しになり旱損地となります。

一、矢代田村としては、大日潟頭無潟四町四反歩余の所新保村と入会になっておったところを先年地分けし、弐町弐反歩余のところを金津村同様野直銭を上納しており、新開されては用水懸りもなく、馬草こやし草も取れません。

一、湯川村としては潟地内ではありませんが、鎌倉新田同様用水不足で新開されては旱損地になって迷惑至極です。

一、前書のとおり新開されては潟縁古田吸落しになり、耕作する用水もなく、旱損地が多分に出来迷惑至極ですから格別の御勘弁を以て是迄のように用水溜になし置かれて、新開は御免に仰せつけなされたく、御聞届になされたなら村々一同ありがたく存じ奉ります。　以上」

低湿地・芦沼地と呼ばれ沖積平野の蒲原に残存した沼沢は当時決して「無用の長物」でなく、関係地内農民はこれを利用してその恩恵を受けていた。この問題の結末はどうなったかの決定的文書は未だ見当らない。またこの願いの以前からの徒開は如何なる形態で行なわれたかも今後の史料調査に待つ段階であるが、すでに質地地主的成長を遂げた小須戸地内にまで拡大して来た今泉の庄屋吉兵衛と、在郷町水原の商人的性格を帯びた百姓宗左衛門との二人の外来者に対して、関係地内農民が一致して反対したこの事件は、潟の町数をその利得に合わせて差をつけたことと共に新発田藩後半の新田形態をよく現はしている。

この決定的打開は明治大正の揚排水、昭和の耕地整理事業までまたねばならなかった